

小学校用いじめ防止教室資料集(CD・DVD付)の作製配付

事業目的

教育行政と警察行政がタイアップした「いじめ防止に向けた総合対策」を推進する。

H25年度、県教委から少年サポートセンター派遣の小学校籍教員によるいじめ防止教室の開催

H25年度(4~3月) 41回

H26年度(4~12月) 36回

現状・課題

○暴力行為の低年齢化が危惧される状況

県内公立小学校における暴力行為の発生件数(県教委調べ)

H24年度100件 H25年度92件

県内公立小学校におけるいじめ認知件数(県教委調べ)

H24年度199件 H25年度181件

○SNSなどのインターネット使用によるいじめトラブル多発

○いじめ防止に向けた具体的な指導案などの資料が不足

事業の必要性

H25年10月、国の「いじめ防止基本方針」の策定を受け、本県においても、H26年3月に「高知県いじめ防止基本方針」が策定され、いじめ防止等のための対策を実効的に行うことが定められている。

現在、少年サポートセンターにおいて実施しているような「いじめ防止教室」が今後各学校で実施されることが見込まれるため、早急に「指導案・教材」のモデルが必要となる。

見込まれる効果

- 県下各地域におけるいじめ防止教室実施の促進
- いじめを伴った問題行動の発生・再発の防止
- 予防・対処両面における学校・警察の連携促進
- 規範意識の醸成
- いじめ撲滅への意欲向上



資料集



H25年度より行ってきたいじめ防止出前教室の実践活動を基に資料集を作成する
H26年度に少年課で制作したネットいじめDVDを増産しセットにする

300セット作成

配布先

- 県内小学校 200セット
- 教育委員会 40セット
- 警察関係 40セット
- 関係機関等 20セット

各学校へ

サポートセンターへ
警察署へ

資料集をモデルに各学校・クラスの特徴をプラスしていじめ防止教室を実施する。

資料集をモデルにいじめ問題発生校・クラスの実情をプラスして、問題解決の対策の一つとしていじめ防止教室を実施する。

平成27年度 新規事業(案)

高知県警察本部生活安全部少年課